

※抗サイトカイン療法

①サイトカインとは？

・リンパ球などの細胞が分泌する物質で、色々な種類があり、全身の働きを調節しています。

特に、免疫のはたらきに重要な役割をしています。

・正常な状態では、これらサイトカイン同士のバランスがうまくとれているのですが、関節リウマチの患者さんの体内では、このサイトカインのいくつかが過剰に産生され、関節炎をおこすと同時に、骨や軟骨など自分の身体の組織を破壊していることがわかってきました。

②抗サイトカイン療法とは？

・リウマチ患者で、特に関節の破壊、炎症の原因になっているのが、TNF- α というサイトカインです。

・TNF- α の働きを抑える薬剤を投与し、リウマチの進行を抑える治療です。

③副作用について？

・発疹などの軽いアレルギー症状が他の薬剤と同じように起きることがありますが、抗がん剤のような強い副作用はありません。

・最も重要なのは、免疫機能がやや落ちるため、結核・肺炎などの感染症を発症しやすくなることです。

